

## 浜田観光農園としばたて観光農園 花瀬観光農園のぶどう収穫始まる

8月1日、ぶどうの収穫時期を迎えた花瀬観光農園の開園式を開催。式典には関係者など約20名が参加し、田代幼稚園の年長児によるハサミ入れが行われました。花瀬観光農園組合の濱田隆介組合長は「晴れた日が続き、色付きも良く甘くておいしいぶどうが育った」と今年の出来を述べました。10月上旬まで開園予定。



巨峰やシャインマスカットなど15種類のぶどうを栽培する浜田観光農園 ☎ 25-2584。しばたて観光農園は ☎ 25-3077。

会場では、飲食ブースに長蛇の列ができるほど多くの方が来場。また、お楽しみ抽選会も行われ、大いに盛り上がりました。



## サマーフェスタin錦江 2023 を開催 3年ぶりの夏祭り開催に賑わう

7月28日、田代中央運動場で錦江町夏祭り実行委員会主催の「サマーフェスタin錦江2023」が開催されました。舞台では錦江舞踊連合会による踊りやジョイサウンドの演奏、エラブチ剛の歌謡ショーなどが行われ会場を沸かせました。3年ぶりとなった夏祭りの最後には花火大会が行われ、錦江町の夏の夜空を彩りました。

神川海岸の影絵も、錦江レゲエ浜まつりに合わせ、レゲエの先駆者でもある「ポップ・マリー」やヤシの木などの影絵を設置して、レゲエバージョンへの変更が行われました。



## 4年ぶりのレゲエに盛り上がる 錦江レゲエ浜まつり開催

7月16日、神川海岸で錦江レゲエ浜まつりが4年ぶりに開催され、町内外から千人を超える方が訪れました。ステージではスカバンド「ARTS」リーダーのボン・デラックスのチョッパーさんなど多数のアーティストが出演し、歌やダンスを披露。観客がレゲエの音楽に合わせて踊る姿も見られ、会場一体となって盛り上がりました。

## みやまふれあいコンサートin KINKO 開催 プロ2人の演奏に会場酔いしれる

7月28日、町文化センターで「みやまふれあいコンサートin KINKO」が開催され、ホルン奏者の安土真弓さんとピアノ奏者の小井土文哉さんが出演しました。アメイジング・グレイスや大河ドラマ「西郷どん」のメインテーマなどを演奏。国内外で活躍しているプロ2人の演奏に観客は魅了されていました。



公演後にはサイン会も行われ、世界で活躍するアーティストと来場者がふれあえる素晴らしいコンサートとなりました。

活動拠点となる更生保護サポートセンターを田代支所2階に設置。毎週月・水・金の9時～16時まで開設しています。



## 安全で安心な明るい社会の実現を目指して 大根占保護司会がメッセージ伝達

犯罪や非行のない社会を目指す「社会を明るくする運動」の内閣総理大臣メッセージを7月3日、大根占保護司会が町長に伝達を行いました。今年で73回目となる地域の支え合い運動。大根占保護司会の貫見広幸会長は「多くの方に活動を知ってもらい、互いに支え合える社会の実現を目指したい」と決意を述べました。

## 美化活動などでイベント参加や会員交流を 花蓮会が神川海岸の清掃を実施

7月14日に若手女性農業者クラブ（花蓮会）が環境美化活動の一環として、錦江レゲエ浜まつりの開催に合わせ神川海岸の清掃を行いました。イベントを裏方から支援しようと、今回初めて企画。城下朝美会長は「これからは美化活動などとおして、イベントへの参加や会員の交流を図っていきたい」と話しました。



農林水産業を営む若手女性で構成する花蓮会。現在21名で活動しており、一緒に活動する会員の募集も行っています。

5年生の小出水心音さんは「意見や好きなことがみんなと違っていい。人権は大切なことだと思った」と話しました。



## 池田小の全校児童が人権同和学習に参加 互いの違いを認め合う大切さ学ぶ

池田小学校で6月19日、お互いの違いを認め合う人権同和学習が行われました。全校児童12名が参加し、同じ説明を聞いて絵を描いても、みんな違う絵になることを学習。指導した県教育委員会人権同和教育課の村田美映子さんは「人の気持ちはみんな違い、目に見えない。話す、聴く、認め合うことが大切」と訴えました。